

日本初！ 3大学が合同でチーム医療教育を推進

～真に患者のための医療を目指し、専門性を越えた医療人を養成する～

首都大学東京は、東京慈恵会医科大学および共立薬科大学との間で教育・研究交流協定を締結します。3大学がチーム医療教育や医療安全教育で連携し、患者のための最良の医療を目指し、専門性偏重教育脱皮に向けた取組をスタートさせます。

つきましては、教育・研究交流協定の締結式を下記により行いますので、ご案内いたします。

－協定締結式のご案内－

(日時) 平成18年12月19日(火) 午前10時30分
(場所) 首都大学東京南大沢キャンパス 特別会議室(本部棟2階)
(出席者) 首都大学東京 学長 西澤 潤一
東京慈恵会医科大学 学長 栗原 敏
共立薬科大学 学長 望月 正隆

※ 締結式の取材をお受けいたします。ご出席の場合は、別紙様式により
12月15日(金)までにお申込みください。

1 プロジェクトの背景

医療の現場において、チーム医療の重要性が唱えられて久しい。保健医療職の教育においても、チーム医療に対する理解の深化と技術の習得に力が注がれてきたところです。しかし、現在においても、医師、看護師、薬剤師などの職種の過度の専門性に妨げられ、患者に向き合い、患者本位を志向する医療の実現は道半ばです。近年頻発する医療事故も専門性に偏重し、患者を全体として見ることを教えない、医療者育成教育の在り方に再考を迫るものです。

首都大学東京は、東京慈恵会医科大学及び共立薬科大学との連携・協力により、単独では実現困難な職種の専門性を越えた斬新な医療者育成教育を首都東京から発信し、医療従事者の真の平等に根ざした患者本位の医療提供に向けた教育にチャレンジします。

2 教育・研究交流の概要 (詳細は別紙を参照してください。)

- 医療者育成教育の在り方を探るシンポジウム等の共催その他学術交流事業を実施します。
- 次の分野を中心に、それぞれが実施する教育・研究等に関して、相互に教員、学生等の交流を行います。今後、単位互換についても、対象となる具体的な科目等の協議が整い次第、実施する予定です。

【インタープロフェSSIONAL教育】

3大学が連携協力し、各種の医療専門職を目指す学生が医療現場で相互学習を繰り返すインタープロフェSSIONAL教育を実施する。

【医療安全教育】

3大学それぞれの医療安全教育に関する取組を相互に学び、発展させ、より総合的な医療安全教育に取り組んでいく。

問い合わせ先：公立大学法人首都大学東京

○協定に関する問い合わせ：健康福祉学部

電話 03-3819-1211

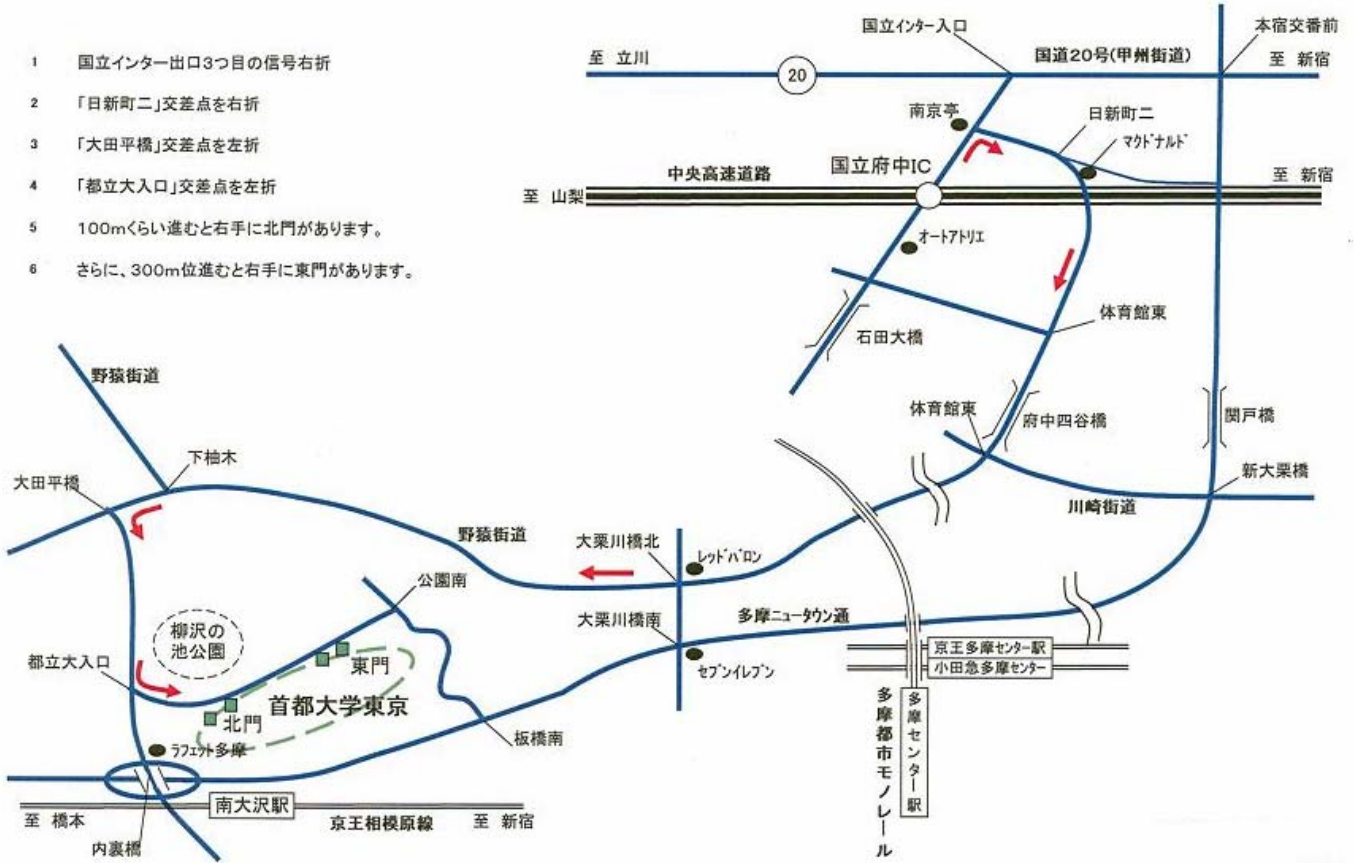
○締結式会場及び当日の問い合わせ：総務部総務課

電話 042-677-2011

首都大学東京南大沢キャンパスのご案内

住所 八王子市南大沢 1-1
 <交通>
 京王相模原線「南大沢駅」下車
 改札口を出て右手に徒歩5分
 ※ 車で来校する場合には、北門からお入りください。

- 1 国立インター出口3つ目の信号右折
- 2 「日新町二」交差点を右折
- 3 「大田平橋」交差点を左折
- 4 「都立大入口」交差点を左折
- 5 100mくらい進むと右手に北門があります。
- 6 さらに、300m位進むと右手に東門があります。



首都大学東京HPのキャンパス案内もご参照ください。
http://www.tmu.ac.jp/university/open_campus/daigaku_anna/minamihsawatop.htm

宛先 公立大学法人首都大学東京 健康福祉学部

(管理課企画担当 行)

FAX 03-3819-1406

首都大学東京・東京慈恵会医科大学・共立薬科大学

教育・研究交流協定締結式 取材申込書

貴社名	
取材予定人数	
車での来校の有無	(該当する方に○を付けてください) あり ・ なし
連絡先	(担当者氏名)
	(電話番号)

※ 当日は10時15分までに会場にお越しください。

(別紙)

首都大学東京、東京慈恵会医科大学及び共立薬科大学の教育・研究交流の概要

1. 医療者育成教育の在り方を探るシンポジウム等の共催その他学術交流事業を実施する。
2. 次の分野を中心に、それぞれが実施する教育・研究等に関して、相互に教員、学生等の交流を行う。なお、単位互換についても、対象となる具体的な科目等の協議が整い次第、実施する予定です。

(1) インタープロフェSSIONAL教育

高齢社会となった現在、医療に求められているものは、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、診療放射線技師、栄養士、医療事務系の職員等の医療関係者が、患者本位の医療の実現のため、職種を越えてコミュニケーションをより緊密に取りながらチーム医療を推進することであると考えられている。

首都大学東京は、将来、看護師、理学療法士、作業療法士、診療放射線技師等として医療等の職務に従事する高度実践的な職業人を育成することを使命としている。東京慈恵会医科大学は医師及び看護師を、共立薬科大学は薬剤師を養成している。この3大学が連携協力することにより、病院など医療現場におけるさまざまな専門職を目指す学生が相互学習を繰り返し、より高度な専門知識と高いコミュニケーション能力を併せ持つ新しいタイプの医療人を養成する環境が実現できる。チーム医療のための教育、インタープロフェSSIONAL教育の実現を目指し交流を深めていく。

(2) 医療安全教育

医療事故の法的責任が厳しく問われる現在、医療事故に関する医療安全教育が必須である。首都大学東京では、講義などによる知識の教授にとどまらず、医療現場における実際を想定した教育・訓練を行っている。

東京慈恵会医科大学では全学年の授業カリキュラムに医療安全教育が盛り込まれ、さらに、ほぼ毎月医療安全の教育ワークショップを開き、医療安全の教育に力を注いでいる。医療安全の教育ワークショップでは、東京慈恵会医科大学の全職員（医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、臨床放射線技師、臨床検査技師、栄養士、ソーシャルワーカー、医療事務系の職員等）及び保健医療職を志す他大学所属を含む学生が参加し、多職種からの多角的意見をもとに医療事故を考えていくユニークな教育システムを確立し実践している。

共立薬科大学では、チーム医療を通じた安全確保に活躍できる薬剤師の育成を目指し、臨床能力向上のためのヒューマニティ・コミュニケーション教育を重視した実践型教育教養推進システムの構築に取り組んでいる。

これら3大学のそれぞれの取組を相互に学び、発展させ、より総合的な医療安全教育に取り組んでいく。

(参考 3 大学の概要)

<東京慈恵会医科大学>

- 創立 1881 年
- 大学設置 1921 年
- 大学院設置 1956 年
- 学部 医学部
 - 医学科 (6 年制、学年定員 100 名)
 - 看護学科 (4 年制、学年定員 30 名)
- 大学院 医学研究科 (博士課程)
- キャンパス 港区西新橋 3 丁目 (医学科 2~6 年次、大学院)
調布市国領町 (看護学科、医学科 1 年次)
- 附属病院 附属病院、附属青戸病院、附属第三病院、附属柏病院、附属晴海トリ
トンクリニック

<共立薬科大学>

- 創立 1930 年
- 大学設置 1949 年
- 修士課程設置 1986 年
- 博士課程設置 1988 年
- 学部 薬学部
 - 薬学科 (6 年制、学年定員 180 名)
 - 薬科学科 (4 年制、学年定員 30 名)
- 大学院 薬学専攻
医療薬学専攻
- キャンパス 港区芝公園 1 丁目
- 附属施設 附属薬局

<首都大学東京 (健康福祉学部・人間健康科学研究科)>

- 健康福祉学部 (4 年制、学年定員 200 名)
 - ・看護学科、理学療法学科、作業療法学科、放射線学科の 4 学科構成。
 - ・看護師、理学療法士、作業療法士、診療放射線技師など、都民の保健医療の向上に寄与することのできる高度実践的な保健医療職業人の育成を目指す。
- 大学院人間健康科学研究科 (修士・博士)
 - ・看護科学系、理学療法科学系、作業療法科学系、放射線科学系、フロンティアヘルスサイエンス系、ヘルスポモーションサイエンス系の 6 系構成。
 - ・学際的・融合的な研究体制のもと、健康に関わるさまざまな分野における高度実践専門家や先端的研究者の育成を目指す。
- キャンパス
 - ・荒川区東尾久 7 丁目 (学部 2~4 年次、ヘルスポモーションサイエンス系以外の大学院各系)
 - ・八王子市南大沢 1 丁目 (学部 1 年次、ヘルスポモーションサイエンス系)
 - ・昭島市東町 3 丁目 (ヘルスポモーションサイエンス系)